

テ緑色ヲ美ニス、江戸ハ蓬ヲ交エルハ稀ニテ、多クハ青粉ニテ緑色ニ染シノミ也。因云江戸ニテハ大概クサモチ、京坂ニテハヨモギ餅ト云也。女兒產レテ初テノ上已前ニハ、親族知音ヨリ雛之或ハ酒肴及膳ヲ贈ルモアリ、菱餅大小アレドモ、横長キ方ニテ尺計リヲ普通トス。○中略、菱餅雛ニ供スルニ圖○中略ノ如ク餅ニ同ジキ菱形ノ臺ニ居ル、黒塗ニ多ク雛蒔繪アリ雛マキエハ乃チ牡丹唐草ノ物ヲ云、菱餅三枚、上下青、中白也。

京坂ニテ初年ニハ右ノ菱ノ餅ヲ贈リ、二年目ヨリハ、イタキト號テ、米ノ新粉ヲ椭圓形ニ扁平シ、聊カ凹ニシテ、一方ニツマミタル形ヲ付ケ、凹ノ所ニ砂糖入りノ赤豆餡ヲ付ケ、是ヲ重箱ニ盛リ配ルヲ普通トス、江戸ニハ此物小形也、涅槃會ニ供シ、今日不用之。

〔文德實錄〕嘉祥三年五月辛巳、嵯峨太皇太后智子崩、壬午葬太皇太后于深谷山。○中略先是民間訛言云、今茲三月三日不可造饌、以無母子也、識者聞而惡之、至于三月宮車明仁晏駕、是月亦有大后山陵之事、其無母子、遂如訛言、此間田野有草、俗名母子草、二月始生、莖葉白脆、每屬三月三日、婦女採之、蒸擣以爲饌、傳爲歲事、今年此草非不繁生、民之訛言、天假其口。

〔長秋記〕保延元年三月三日丙子、女院有鬪鷄事、左方限合之。○中略右頭經宗、依病不參之故也。

○按ズルニ、三月三日鬪鷄ノ事ハ、遊戲部物合篇ニ詳ナリ。

〔諸國會〕年中行事大成三月三日 潮干 此日所々の海潮大に涸く、殊に泉州堺浦、住吉の海濱甚し、是を見物の輩群をなし、干潟に出て蛤を取、これをにじるといふ、足にて踏み、或は鎌にて砂をわくるに、其鎌にあたるを探取る、今日より七日迄を大潮と云、十日の比を長潮と云、其餘潮干に名高きは紀州加多武州品川等也。

○按ズルニ、潮干ノ事ハ、產業部漁業篇ニ在リ。